

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 29 年 1 月 19 日 (2017.1.19)

【公開番号】特開 2016-86647 (P2016-86647A)

【公開日】平成 28 年 5 月 23 日 (2016.5.23)

【年通号数】公開・登録公報 2016-031

【出願番号】特願 2014-220588 (P2014-220588)

【国際特許分類】

A 2 3 L 19/00 (2016.01)

B 2 6 D 3/26 (2006.01)

【F I】

A 2 3 L 1/212 B

B 2 6 D 3/26 6 0 5 C

B 2 6 D 3/26 6 0 5 B

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 12 月 1 日 (2016.12.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

切込装置であって、それを構成するのは、少なくとも、以下であり、

固定具：この固定具が固定するのは、被切込体であり、

刃物：この刃物が少なくともその一端側に有するのは、刃先であり、この刃先が対向しているのは、前記固定具であり、

軸：この軸が回転可能に支持するのは、前記刃物であり、

駆動部：この駆動部が直線的に移動させるのは、前記軸であり、その移動方向と垂直をなすのは、前記軸の軸心方向であり、かつ、

弾性体：この弾性体が引っ張るのは、前記刃物の他端側であり、

前記移動方向に対する前記刃先の角度が最大となるのは、前記軸の移動前であり、前記角度が変化するのは、前記軸の移動中である。

【請求項 2】

請求項 1 の装置であって、

前記角度がゼロとなるのは、前記軸の移動中である。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 の装置であって、

前記刃先が移動しながら受けるのは、被切込体からの抗力である。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 の何れかの装置であって、

前記固定具を構成するのは、少なくとも、以下であり、

座板：この座板に形成されているのは、穴であり、この穴の中心軸と垂直をなすのは、前記移動方向である。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 の何れかの装置であって、

前記刃先の到達位置は、被切込体の表面から 1 乃至 3 ミリメートルである。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 の何れかの装置であって、それを更に構成するのは、以下であり、
調節具；この調節具が調節するのは、前記刃先と前記固定具との距離である。

【請求項 7】

皮付きトマトであって、
その表皮に形成されるのは、切込みである。

【請求項 8】

請求項 7 の皮付きトマトであって、
前記切込みの形状は、一文字である。

【請求項 9】

請求項 7 又は 8 の皮付きトマトであって、
前記切込みが形成されているのは、底部である。